

基金について

1 基金一覧

- ・主要3基金（財政調整基金、減債基金、都市整備基金）を含む、市保有の基金（一般会計）は以下のとおり

名称	R1末 残高見込 (億円)	設置目的	今後の使い道等	
財政調整基金	33.8	財源不足への備え	残高を確保	
減債基金	0.3	市債の償還	必要に応じて積立	
都市整備基金	58.3	都市施設の整備	設置目的に沿って取崩し 〔市街地再開発事業、 その他都市施設整備事業〕	
小計	92.4			
その他特定目的基金※1	ふるさと創生基金	40.0	市民の連帯強化、 地域振興	・債券運用を行っているが、利率低下により運用益金が減少 ・基金の活用方法が課題
	中越大震災メモリアル基金	8.3	中越地震の経験の継承、 被災地の活性化、 青少年の防災教育	設置目的に沿って取崩し
	和島地域教育施設整備基金	0.6	和島地域の教育施設整備	設置目的に沿って取崩し
	三波春夫顕彰事業基金	0.1	三波春夫顕彰事業	設置目的に沿って取崩し
	小計	49.0		
定額運用基金※2	土地開発基金	8.0	土地取得	
	公共料金支払基金	2.0	公共料金の支払	
	一般旅券印紙等購買基金	0.1	収入印紙・県収入証紙 の売りさばき	
	小計	10.1		
合計	151.5			

※1 特定目的基金：特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるための基金

※2 定額運用基金：特定の目的のために定額の資金を運用するための基金

2 財政調整基金の目標額の考え方

- ・財政調整基金は、赤字決算とならないよう、年度間の財源を調整するための基金であり、その目的の範囲内で積み立てておく必要がある
- ・団体ごとに事情が異なるため、国は一律に基準を定めていないものの、標準財政規模の5%が一つの目安とされており、長岡市の場合は35億円

$$692 \text{ 億円} \times 5\% \approx 35 \text{ 億円}$$

(R1 標準財政規模)

- ・近年の取り崩しの状況を勘案すると、35億円が最低限必要な額と認識している
- ・今後の財政運営においては、収支均衡を実現し、当面は基金残高が35億円を下回らないようにしていく

(参考) 財政調整基金の取り崩し状況

H28	H29	H30※	R1 見込	R2 予算
▲18 億円	▲32 億円	▲5 億円	▲8 億円	▲4 億円

※H30 は、減債基金8億円を取崩し